

「持統天皇と日本の古代国家」シンポジウムを開催します



せんとかん
平成遷都1300年祭

場所

日時

三野町体育センター
(下高瀬小学校南隣・駐車場あり)

10月18日(土)
午後1時30分～4時30分

古代の大事件、大化の改新を断行した天智天皇の子として父の弟、天武天皇の皇后として女性天皇として多くの困難や悲劇をのりこえ西暦694年、日本最初の都「藤原京」を建設し古代の法律 大宝律令を制定し古代日本を一流国家につくりあげた持統天皇の生涯と藤原宮に瓦を供給した宗吉瓦窯の謎にせまる！

宗吉瓦窯跡史跡公園(仮称)が来年度オープンします。宗吉瓦窯で焼いた瓦は、持統天皇が作った藤原宮に運ばれ、平城京にも転用されています。そこで「平城遷都1300年祭」の連携事業の一環として、宗吉瓦窯跡と関係の深い持統天皇を取り上げたシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、古代史の専門家を中心とする皆さんをお招きし、横山市長と古代のロマンについて語っていただきます。



藤原宮用に作られた瓦
(15・16号窯間出土)



全国最大規模の17号窯
(現地説明会の様子)



現在整備中の展示・ガイダンス施設

基調講演

千田 稔 氏
(奈良県立図書館長)

シンポジウム

千田 稔 氏

戸田 守亮 氏

(全日本文化団体連合会長)

渋谷 啓一 氏(香川県観光振興課)

横山市長

入場料

無料

申し込み

不要

問い合わせ
生涯学習課

62・1113

